

# コアコア新聞

コナヒトにワクワク  
アんなコトにドキドキ  
コんなモノにソワソワ  
アんなトコロにゾロゾロ

映画館力 シネマ・チュプキ・タバタ 東京都北区

## クラウドファンディングで 実現した「完全バリアフリー」 の手作り映画館

障害のある人もそうでない人も、誰もが気軽に映画を楽しめる映画館が2016年に東京都北区田端の小さな商店街の二画にオープンした。音声ガイドに親子鑑賞室など、かゆいところに手が届く心配りとは？



1 座席数は固定席、可動席を合わせて20席ほど。2 小さい子どもがぐずった時のために完全防音の「親子鑑賞室」も完備。3 支筆者全員の名前が書かれた「チュプキの樹」。

「ユニバーサルシアター」。耳慣れない言葉だが、健常者も障害者も一緒に映画を楽しめる映画館を指す。2016年（平成28）9月、東京・田端に日本初のユニバーサルシアターが誕生した。運営するのは、バリアフリー映画鑑賞推進団体のシテイ・ライツ。

代表の平塚千穂子さんは、もともと高田馬場にある老舗映画館「早稲田松竹」で働いていた。「そこで生まれた視覚障害者との交流を機に、彼らが映画を楽



代表の平塚さん。音声ガイドはこの部屋で制作される。

しむためには言葉で映像を解説する『音声ガイド』が必要だと実感したんです」

平塚さんは2001年にシテイ・ライツを立ち上げ、田端の隣駅、上中里で字幕や音声ガイド付きのバリアフリー上映会を開いてきた。ここで言う「音声ガイド」とは、「夕暮れ時、真

さんがトラックを片手に上手の上を歩いていく」といった視覚的な情報を補うナレーションを指す。やがて、映画館営業の許可を取得して本格的なユニバーサルシアターを作りたいと思うようになり、開業資金を賄うためのクラウドファンディングを始めた。



JR山手線田端駅北口から徒歩5分、田端駅下仲通り商興会にある。

たんです。地道に続けてきたシテイ・ライツの活動が評価されたのかもしれない」  
こうして生まれたのがシネマ・チュプキ・タバタだ。平塚さんは音響にも相当こだわった。「立川シネマシティの爆音上映で有名になった『ガールズ&パンツァー劇場版』の音響監督、岩浪美和（いわなみ・よしかず）さんに音響設計を依頼しました。劇場の前面、側面、後面、天井すべてにスピーカーを配置し、森に包まれているかのような立体的な『フォレストサウンド』を実現しています」

上映作品のセレクトは「10年後にまた観たいかどうか」。例えば、2019年3月のラインナップはアメリカのファンタジー映画『オズの魔法使』や、テレビディレクターが認知症の母親と耳の遠い父親を題材に撮ったドキュメンタリー『ぼけますから、よろしくお願いします。』

### DATA

シネマ・チュプキ・タバタ  
住所 ● 東京都北区東田端2-8-4  
電話 ● 03-6240-8480  
営業時間 ● 10:00~23:00  
料金 ● 一般1,500円  
シニア（60歳以上）1,000円  
学生1,000円 / 中学生以下500円  
定休日 ● 水曜日  
公式サイト ● <http://chupki.jp.org>

地域創生のための、充実の総合情報を毎月お届けします

第44号



巻頭インタビュー

**村木厚子**

元厚生労働事務次官

支え、支えられる  
「お互いさま」社会

# 地域人

CHIKUJIN

特集

## 障害者と

## ともに生きる



障害者自身が声を上げる  
DPI日本会議

**今村 登**

南高愛隣会40年の挑戦

**田島良昭・光浩**

文 西村 明

みんなが使いやすい環境作り  
東洋大学工学研究所

**高橋儀平**

障がい者スポーツを推進するまち

**福島・大阪・別府**

文 岡 邦行

パラスポーツの潜在力

D-SHIPS32

**上原大祐**

「共遊玩具」を知らせたい  
タカラトミー

**高橋玲子**

聴覚障害児のお母さんを支援  
Mothers' Cafe

**西田 梓**

生きづらい人の暮らしを知る  
Tekito-

**野々村光子**

バリアこと旅を楽しむ

**トラベルフレンズ・**

**とっとり**

ありのままの姿で表現する  
劇団態変

**金 満里**

新連載

**岩村暢子**

食卓から見た

ニッポン人の変化

好評連載

**養老孟司**

**清成忠男**

**島蘭 進**

**森まゆみ**

**二宮清純**ほか